

第1章 研究協力

当研究所では、研究を遂行する上で、外部機関との協力によって研究を推進する「協力研究」と、研究成果を相互に利用することを目的とする「共同研究」および研究機関相互の連携・協力によって研究

活動の一層の充実を図ることを目的とする「包括的連携協定」を実施している。

令和3年度は、下記の協力研究及び共同研究を行った。

No.	研究協力機関	区分	研究テーマ	担当部
1	一般財団法人 電力中央研究所	共同研究	尾駮沼における物質循環把握	環境影響研究部
2	弘前大学被ばく医療総合 研究所	共同研究	大気環境における放射性核種の挙動に関する研究	環境影響研究部
3	シンガポール国立大学 シンガポール核研究安全イニシアチブ 放射線生理学研究室	共同研究	胎仔期及び幼若期の低線量率放射線被ばくが神経系の発生に及ぼす影響	生物影響研究部
4	一般財団法人 電力中央研究所	包括的 連携協定	低線量放射線の生物影響及び環境放射能の挙動・分布等に関する研究の包括的連携のための協定。低線量（率）放射線の健康影響及び放射性物質の環境動態を科学的に解明することを課題として研究施設・設備の相互利用及び研究者交流を促進させることを目的とする。	環境影響研究部 生物影響研究部
5	国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構	包括的 連携協定	低線量放射線の生物影響及び環境放射能の挙動・分布等に関する研究の包括的連携のための協定。低線量（率）放射線の健康影響及び放射性物質の環境動態を科学的に解明することを課題として研究施設・設備の相互利用及び研究者交流を促進させることを目的とする。	環境影響研究部 生物影響研究部
6	国立大学法人 福島大学環境放射能研究所	包括的 連携協定	低線量放射線の生物影響及び環境放射能の挙動・分布等に関する研究の包括的連携のための協定。低線量（率）放射線の健康影響及び放射性物質の環境動態を科学的に解明することを課題として研究施設・設備の相互利用及び研究者交流を促進させることを目的とする。	環境影響研究部 生物影響研究部
7	国立大学法人 弘前大学	包括的 連携協定	教育、研究における連携協力に関する包括協定。研究機関相互の理念、特色を基	環境影響研究部 生物影響研究部

			盤に、教育、研究分野で連携協力することにより、相互の研究開発及び人材育成の充実を図ることを目的とする。	
--	--	--	---	--

